

なかま

生き残る 芝にタンポポ 身をかがめ
眼を冷やし 片目で仰ぐ 桜花

行事予定表

- 4月27日 写真撮影 運動会係の打合せ会
5月4日 参観日 (小3,4-1校時参観2校時懇談、
中、P中高部低-3校時参観4校時懇談)
5月11日 参観日 (小1,2、P小-1校時参観2校時懇談、
小5,6-3校時参観4校時懇談)
6月1日 運動会係リーダーと教員打合せ (16:25~)
6月22日 漢字検定

教室変更のお知らせ 304教室を
プリンスコース中高部低学年教室とします
図書室利用時間は従来通り 12-16:00 になります

教室不足の中で、その確保のために試行してきましたが、生徒優先の観点から、304教室を常時教室として使用することにし、事務室機能を302教室(図書と共用)に、会議室機能を301教室(現在事務室)にすることにしました。印刷や備品管理に関しては従来通りとします。

これ以上の数の教室を提供できないという大学側の回答もあり、現有の室数で対応を余儀なくされているなかで試行してきましたが、最終的に普通教室以外の301と302を有効に活用することを選択しました。慣れるまでは勝手が違うことによりご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。

宿題をやりとげる (Rome was not built in a day.)

山登りの帰り道で尾根筋を一つ間違えて、とんでもない所に下りてしまった怖い経験があり、そこで分かれ道の最初の一步を慎重にする必要性を学びました。

生徒の皆さんは新しい学年になり、がんばろうと決意していると思います。ところが、現地校の宿題やクラブ活動などが忙しくて、ついつい補習校の宿題はできなかつたと言いつつするかもしれません。しかし、宿題をしないで臨むと授業内容がよく分からなくなったりします。それを繰り返していると段々と始めの決意が揺らいできます。

辛くてもやりとげる、どんなに忙しくても絶対やりとげる、という決意をして毎週がんばり通すと、確実に日本語は上達します。繰り返すことがいかに大きな力になるかを実感してください。自分の敵は自分なので、自分に甘いのはだめですよ。皆さんにはやりとげたあとの素晴らしい未来が待っているのですから。



Taraxacum

プリンス日本語学校新聞



平成26年度 No.04号
平成26年 4月27日
文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

「宮沢賢治」ってどんな人? (10) 狼3 芝崎雅行

ドラマ『狼森と策森、盗森』の最後の山場で、百姓たちは、栗を盗んだ張本人として、「名からしてぬすと臭い」などと云いながら、盗森が形になった巨人(ダイダラボッチ)に対峙する。

盗森:「何だと。おれをぬすとだと。さう云ふやつは、みんなたゞき潰してやるぞ。ぜんたい何の証拠があるんだ!」

百姓たち:「証人がある! 証人がある!」

盗森:「誰だ。畜生、そんなこと云ふやつは誰だ! (と咆(ほ)える)」

百姓たち「(負けずに) 黒坂森だ!」

盗森:「あいつの云ふことはてんであてにならん。ならん。ならん。ならんぞ。畜生!!」

みんなももつともだと思つたり、恐ろしくなやまつたりしてお互に顔を見合せて逃げ出さうとしました。

突然、頭の上から声が聞こえる。童話に戻ると、

「いやいや、それはならん。」といふはっきりした厳かな声がしました。見るとそれは、銀の冠をかぶった岩手山でした。

これは、岩手山が自然と人間の争いごとに、上から口を出して、大岡裁きをするって感じなんだよね。僕は初めて読んだ時、ちょっと馴染めなかつた。だいたい、僕は太閤越前や黄門さまってのが、反抗期過ぎたら、嫌いになっちゃったしね。

でも、去年の春、銀の冠をかぶった岩手山をこの目で見た時、この土地の人達が、富士山信仰と同様の思いを岩手山に寄せていることは実感できたと思うし、賢治がその思いを、黒坂森の巖から聞いたという話の流れも理解できる。だって、この巖も、岩手山の噴火で、火口から飛び出して来たって云っているんだから。偉そうなひげ面で、岩手山のことを「かあちゃん!」とか「オヤジ!」って、呼ぶかもしれない。

特別に一冊の絵本を紹介するのもなだけけど、宮沢賢治記念館で、片山健・絵『狼森と策森、盗森』(ミキハウス)を見つけて買ったんだけど、紹介したくなるような嬉しい絵本だよ。

(副総務長)

投稿を歓迎します。

面白く印象深い話をお寄せください。生徒の作文等も折に触れて紹介します。



岩手山 2038m 南